

新入生に対する健康調査結果の17年間の変化 ～男女差を中心に～

新井野洋一^{*}, 岡本浄実^{**}, 佐多直温^{*}

A Report on Health Survey of Newly-enrolled Students for 17 Years: For the Viewpoint of Gender Difference

Yoichi Niino, Kiyomi Okamoto, Naoharu Sata

はじめに

私たちは、体育授業をはじめ学生生活が安全かつ健康的に送れるよう、その基礎的な資料を得ることを目的に1982年から「健康等に関する調査」を実施してきた。結果は、以下のように4回報告した。

A. 体育実技受講生に関する基礎的検討～第1回調査報告書～『愛知大学体育研究室』、1983年

①調査

22問（対象者の特性に関する項目、健康状態に関する項目、保健意識・保健行動に関する項目、体育・スポーツ等に関する項目）で構成された調査用紙を用いた集合調査法により、体育実技クラスごとで実施した。

②分析年

1982（昭和57）年

③対象者数

性別内訳 男子学生1,962名、女子学生630名、合計2,592名
校舎別内訳 豊橋校舎1,697名、名古屋校舎895名、計2,592名

④報告の内容

- ・ 5割以上の学生が何らかの自覚症状を訴えている
- ・ 自覚症状の訴え状況と生活形態や喫煙習慣との間に強い関係が認められること
- ・ 肥満、痩せすぎの学生ほど健康意識が低く保健行動にも問題があること

B. 新入学生の健康意識と保健行動～第1回

調査の結果および第2回調査の中間報告～『愛知大学体育学論叢第2号』、1984年

①調査

22問（対象者の特性に関する項目、健康状態に関する項目、保健意識・保健行動に関する項目、体育・スポーツ等に関する項目）で構成された調査用紙を用いた集合調査法により、体育実技クラスごとで実施した。

②分析年

1983（昭和58）年

③対象者数

性別内訳 男子学生1,906名、女子学生509名、合計2,415名
校舎別内訳 豊橋校舎1,531名、名古屋校舎962名、計2,415名

* 再履修者 78名

④報告の内容

- ・ 調査結果の概要
- ・ 健康診断結果（所見）とコンピュータでリンクするシステム作りなど総合的な視野に立った保健サービスの重要性を指摘した。

C. 健康等に関する調査から見た本学豊橋キャンパスの新入学生～11年間の変化を中心とする一考察～『一般教育論集第17号』、1999年（日本体育学会第50回記念大会、1999年10月7日東京大学において口頭発表を行った）

①調査

18問（生活状況に関する項目、健康状態に

*愛知大学経済学部教授

**愛知新城大谷大学講師

関する項目、保健行動に関する項目、高校時代のスポーツクラブ活動状況に関する項目)で構成されたマークシートによる集合調査方法により体育実技ガイダンス(第1回目の授業)で実施した。また、 Semester制の実施により調査時期は、1987年から1995年は4月上旬、1996年以降は9月下旬である。

②分析年

1987(昭和62)年~1998(平成10)年

*カリキュラム変更のため1991年を除く

③対象者数

性別内訳 男子学生7,908名、女子学生2,998名、合計10,906名

*1987年より豊橋校舎の経済学部・文学部を対象としている。

④報告の内容

- ・通学時間が短縮傾向を示した。また、性別にみると男は「15分以内」が最も多く、女は「90分~120分」が最も多く、明確な性差がみられた。
- ・朝食を「摂取しない学生」が急増し、「毎日食べる」学生が減少していることが明らかになった。
- ・健康状態に対する認識の悪い学生が増加していることがわかった。
- ・高校時代に行っていたスポーツ活動を続けたいと思っていない学生が5割を超えていたことがわかった。

D. A 大学(T校舎)新入学生に対する健康調査の11年間の変化(第2報)~健康状態に対する認識別分析を中心に~『体育学論叢第9号』、2000年(日本体育学会第51回大会、2000年10月6日奈良女子大学において口頭発表を行った)

①調査

(3) 報告と同様

②分析年

(3) 報告と同様

③対象者数

健康に対する認識について分類した。
よい群(「たいへんよい」「まあまあよい」)

8,931名

悪い群(「少し悪い」「非常に悪い」)

1,550名

合計 10,481名

④報告の内容

- ・現在の健康状態の認識の「良い群」では、「病気やけがにかかっても症状は軽く、治療についても積極的でほとんどが完治させていること、朝食の摂取状況がよいこと」がわかった。
- ・現在の健康状態の認識の「悪い群」では、「4人に1人に既往歴があること、病気やけがにかかりやすく、その病気やけがの約5割が一ヶ月以上たっても完治していないこと、健康状態に対する認識のよい群の約3倍の自覚症状を訴えていること、朝食の摂取状況が悪いこと」がわかった。

なお、1987~1999年までは、旧マークカード(図1-1)で調査を行った。2000年より調査項目を改編し調査を続けている(図1-2参照)。

1 本報告における調査データの概要

対象者は、本学豊橋キャンパスにおける新マークカードによる調査対象者6年間の学生6,532ケース(表1.)に前回の報告で対象とした旧マークカード調査分11年間の学生10,906ケース(男7,908、女2,998)を加えた17年間の新入生17,438ケース(男11,679、女5,759)である。

表1のように、性別では、男3,771(57.7%)、女2,761(42.3%)である。前回の報告に比べ女子学生の比率が14.8%増加していることは、調査対象の学部の増減によるものである。学部別データ数は、経済学部生2,906(男2,238、女668)、文学部生2,305(男922、女1,383)、経済学部2部生426(男395、女31)、国際コミュニケーション学部895(男216、女697)である。なお、国際コミュニケーション学部は、2001年度よりカリキュラム変更のため調査対象に追加した。経済学部2部では学部廃止のため2004年度から実施していない。

2 結果と考察

(資料「単純集計表」を参照)

1) 生活状況

①現住所

全体の約9割(88.9%)が愛知県内に住み、うち豊橋市を現住所とする学生が31.8%であった。前回報告と比較すると豊橋を現住所とする学生がやや減少している。近県すなわち岐阜、三重、静岡県を現住所とする学生の割合はほぼ同傾向で推移している。

全体の73.4%が「親と同居あるいは本人の持ち家」に住み、次いで「アパートやマンション」の25.9%であった。「親と同居」あるいは「本人の持ち家」とそれ以外(「アパートやマンション」、「その他(食事つきの下宿や知人などの持ち家)」)に分けて、男女別の経年的変化を表したのが図2.である。「親と同居あるいは本人の持ち家」が女子学生に多く、「アパートやマンション」が男子学生に多いという結果が見られた。

②主な通学手段

「電車」を主な通学手段としている学生は66.0%で前回調査(61.0%)より増加している。一方、「徒歩」で通学する学生が最も少ないのは03年の3.8%で前回調査(97年の4.8%)より減少している。

「電車」を主な通学手段としている学生を性別にみると、男子学生60.0%、女子学生74.2%で

女子学生の方が多い。また、「自転車」を主な通学手段としている学生が増加し男子学生では

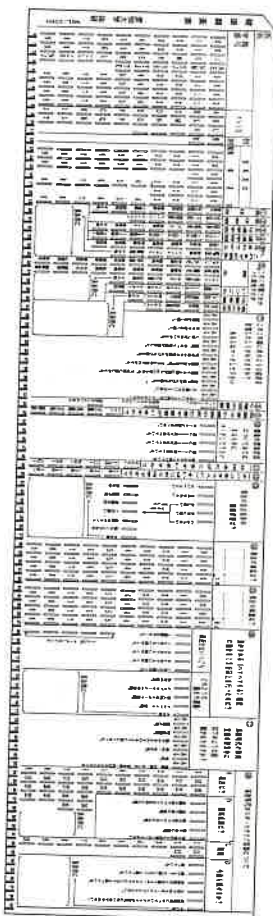


図1-1 旧マークカード



図1-2 新マークカード

表1. データ数(年度別・性別)

性別	99年	00年	01年	02年	03年	04年	合計
男 (3,711名)	775 65.2	589 65.0	615 53.8	626 53.5	666 55.5	500 54.1	3771 57.7
女 (2,761名)	414 34.8	317 35.0	528 46.2	544 46.5	534 44.5	424 45.9	2761 42.3
計 (6,532名)	1189 100.0	906 100.0	1143 100.0	1170 100.0	1200 100.0	924 100.0	6532 100.0

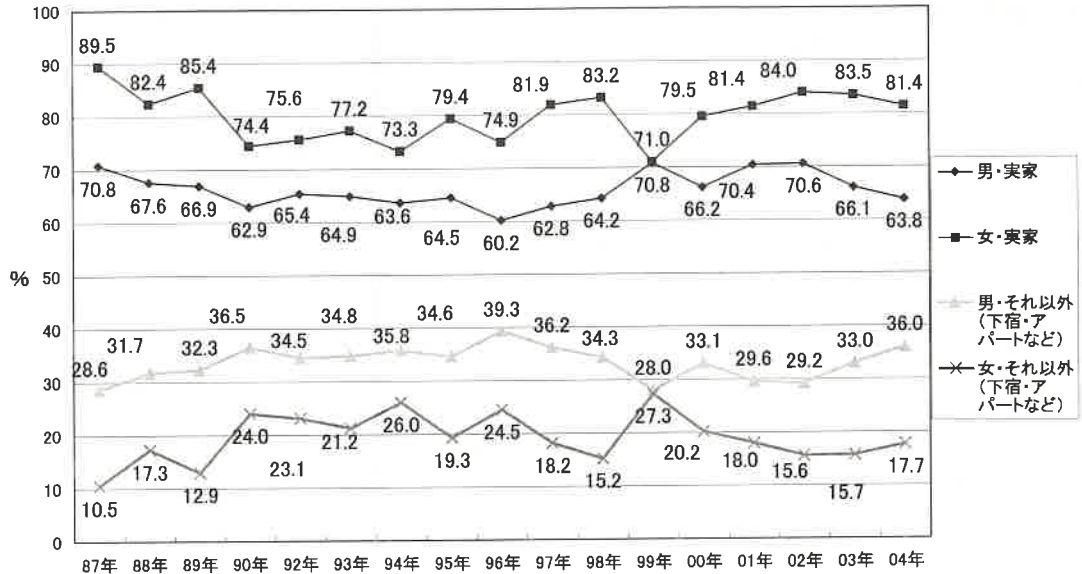


図2. 居住形態の変化

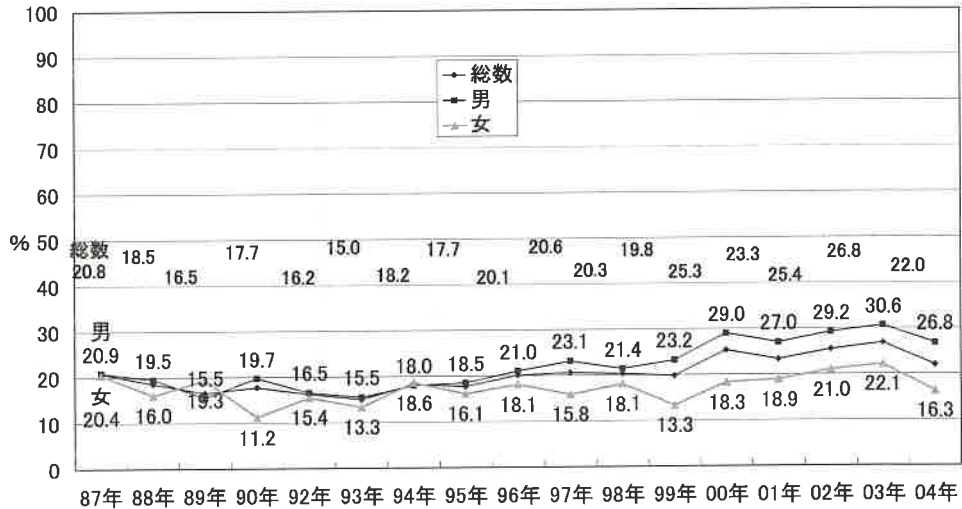


図3. 既往歴 (「あり」と回答した者)

04年に30.4%に達している。また女子学生は01年度に22.0%で最も多かった。

③片道の通学手段

片道通学時間で最も多かったのは、「15分以内」(25.9%)で、次いで「61~90分」(20.0%)であった。前回報告で、「121~150分」「151~180分」「181分以上」の遠距離通学をしている学生は7.1%であったが、今回の調査では9.1%に増加している。性別でみると、男子学生は「15

分以内」が31.4%で最も多く、女子学生は「90~120分」が26.9%で最も多く、性差が見られた。

2) 健康状態

①既往歴 (生まれてからこれまでに罹ったことのある病気やけが)

全体の20.3% (1,328人) が、生まれてからこれまでに何らかの病気に罹ったことがあると回答している。また、図3. に示すように、既往

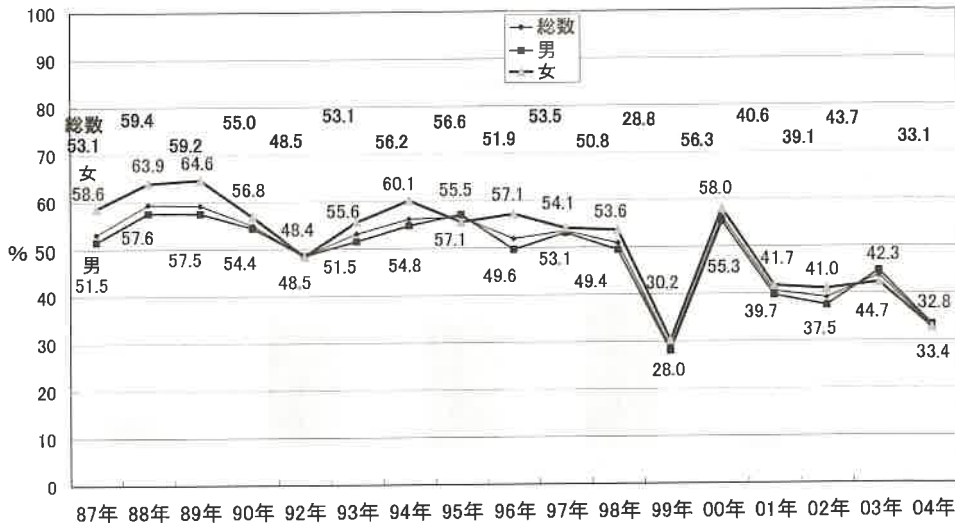


図4. 本学入学以後（4月以降）に罹った病気やけが（「あり」と回答した者）

歴「あり」の男子学生が多くなっている。病名（複数回答1,552ケース）で最も多いのは「腰痛」（31.6%）で、次いで「喘息」（24.7%）、「その他」（11.7%）の順であった。詳細は、分析中であるが、その他では「アトピー性皮膚炎」「アレルギー」「花粉症」などの病名が多い。性別に既往歴の有無を見ると、「あり」とする男子学生23.3%に対して女子学生16.3%で男子学生の方が高率であった。また、前回調査（18.9%）よりも男子学生の既往歴率「あり」の割合が高くなっている。

②本学入学後（4月以降）に罹ったことのある病気やけが

前回の報告では、「この1年間に罹った病気やけが」という設問で54.2%が「あり」と回答していた。今回の調査は、「本学入学後（4月以降）に罹ったことのある病気やけがで最も重いもの」で病名を回答する設問に変更された。その結果、全体の39.9%（2,604名）が「本学入学後（4月以降）に罹ったことのある病気やけががある」と回答していた。また、男女別では図4.に示すように女子学生の方がやや高率であった。年度別には、00年が最も高く56.3%、99年が最も低く28.8%であった。また、「本学入学後（4月以降）に罹ったことのある病気や

けがの最も重いもの」に回答した2,604名の病名の内訳をみると、「かぜ」が最も多く59.6%、次いで「N.A.」であった。また、「最も重いもの」という設問に複数回答している学生が12.1%あった。性別で見ると、男子学生には「ねんざ」「骨折」が多く、女子学生には「貧血」「皮膚病」が多かった。

本学入学後（4月以降）に罹ったことのある病気やけがで最も重い病気にマークした2,183名（男1,252名、女931名）に対して「どんな治療を受けましたか」と質問した。図5-1.に示すように、前回報告では、「通院」「なにもしなかった」「売薬」の順であった。今回の調査では、全体から見ると「通院した」が34.7%で最も多く、ついで「売薬」で32.9%、最も少なかったのが「入院」で1.9%であった。男女別にみた治療状況を図5-2.に示した。前回報告と比較すると女子学生で「通院」が減少し「売薬」が増加している。さらに、「現在どのような状態ですか」という質問に対して73.8%が「完治した」と回答している。

③自覚症状

提示した10項目の症状に対して、この1年間に自覚したことがあると回答した学生は、全体で4.0%（つまり、一人あたりの訴え数は10項

新入生に対する健康調査結果の17年間の変化

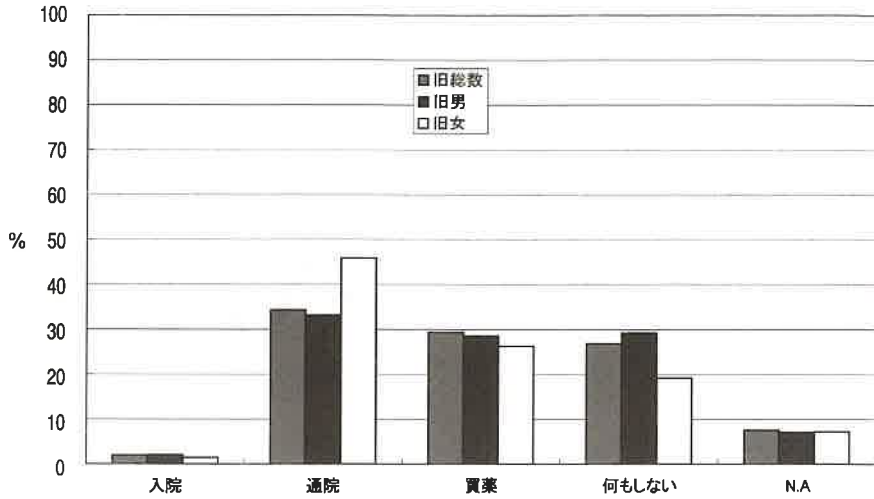


図5-1. 最近の病気やけがの治療状況 (最近の病歴「あり」と回答した者)

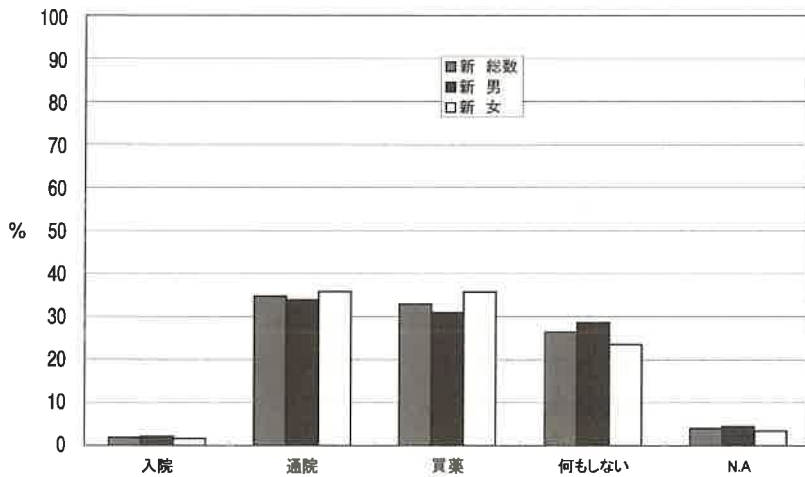


図5-2. 本学入学後 (本年4月以降) に、罹った病気やけがで最も重かったもの (「あり」と回答した者) の治療

表2. 自覚症状 (訴え率の高かった順)

項目	旧男	新男	増減	旧女	新女	増減	旧全体	新全体	増減	順位
よく眠れないことが多い	5.5	9.6	↑	4.0	6.2	↑	5.1	8.1	↑	4
しばしばめまいがする	4.7	5.7	↑	9.8	10.0	↑	6.1	7.5	↑	2
階段や坂を登るとき、動悸や息切れがする	3.8	4.0	↑	7.9	8.7	↑	4.9	6.0	↑	5
胃の痛みや不快感がたびたび起こる	5.6	3.7	↓	9.5	6.7	↓	6.7	4.9	↓	1
こまかいことが気になってしかたない	5.9	5.2	↓	5.1	4.0	↓	5.7	4.7	↓	3
頭痛が長く続く	2.8	2.7	↓	5.8	5.6	↓	3.6	3.9	↑	6
食欲不振がたびたびおこる	2.6	2.6	→	3.0	3.0	→	2.7	2.8	↑	7
最近めだって体重が減った	2.3	2.9	↑	1.4	1.7	↑	2.1	2.4	↑	8
運動すると胸の奥がしめつけられ、痛む感じがする	2.0	1.5	↓	1.6	0.5	↓	1.9	1.1	↓	9
耳鳴りが長く続く	1.5	0.9	↓	2.2	1.1	↓	1.7	1.0	↓	10

増加↑ 減少↓ 増減無→ 単位: %

目中平均0.4個)だった。表2.に全体の訴え率の高い順に前回の結果とともに示した。最も高かった項目は、「よく眠れないことが多い」で8.1% (男9.2%、女6.2%)、最も低いのは「耳鳴りが長く続く」で1.0% (男1.5%、女1.1%)であった。前回の報告と比較すると「階段や坂を登るとき、動悸や息切れがする」が前回報告5番目から2番目(全体7.5%、男9.6%、女6.2%)に上がっている。反対に「胃の痛みや不快感がたびたび起こる」が前回報告の1番目から4番目(全体4.9%、男3.7%、女6.7%)に下がっている。また、「しばしばめまいがする」は、前回報告と同じ2番目であったが、訴え率が6.1%から7.5%に増加している。

④心電図の診断

「心電図診断」について「診断してもらったことがない」と回答した学生が1.1%で前回報告(4.9%)より減少している。心電図の検査や診断の経験のある学生96.0%の内訳は、「正常だと診断された」が78.6% (男77.0%、女80.6%)、次いで「検査したが結果は知らない」で14.9% (男15.4%、女14.2%)であった。2.5% (男2.5%、女2.4%)の学生が「異常があると診

断された」と回答している。

⑤心臓病の家族歴

心臓病の遺伝性との関係を知るために、血族者における心臓病の死亡者や患者の有無を質問した。全体の99.0%が「いない」と回答し、全体の1.0% (男0.9%、女1.2%)の学生がいると回答していた。「いる」と回答した67名に具体的な血族者を質問した結果69ケースの回答があった。最も多かったのは「父親」で59.4% (男58.8%、女60.0%)で、ついで「母親」で24.6% (男14.7%、女34.3%)であった。

⑥現在の健康状態に対する自覚

「現在の自分の健康状態」について、良い(「まあまあよい」「たいへんよい」と評価した学生は、74.1% (男70.6%、女79.0%)、悪い(「少し悪い」「非常に悪い」と評価した学生は、17.9% (男20.4%、女14.5%)である。また、「わからない」と回答した学生は、7.4% (男8.3%、女6.2%)で前回報告(全体2.9%、男3.0%、女2.9%)と比較すると約2.5倍に増えている。男女別にみると「たいへんよい」は男子学生が多く、「まあまあよい」は女子学生が多かった。「少し悪い」「非常に悪い」では、どちらとも男子

表3. 健康状態がよくわからない理由(「少し悪い」「非常に悪い」「わからない」の合計)

項目	旧 男	新 男	増加	旧 女	新 女	増加	旧 全体	新 全体	増加	前回順位
寝不足	27.5	38.7	*	30.8	35.1	*	28.4	37.4	*	2
運動不足	31.5	21.3		23.1	20.9		29.4	21.2		1
食事のバランス	16.7	18.4	*	12.0	16.6	*	15.5	17.8	*	3
悩みごとがある	7.1	8.3	*	11.0	9.4		8.1	8.7	*	5
その他	6.3	6.6	*	9.9	8.0		7.3	7.1		6
病氣中	9.2	5.7		12.8	8.9		10.2	6.8		4
二日酔い	1.6	2.6	*	0.3	2.9	*	1.3	2.7	*	7

旧=1,867名中2,303ケース 新=2,022名中2,056ケース * =増減あり 単位: %

表4. 高校時代の体育の授業中に以下のような体験がありましたか

項目	旧 男	新 男	増加	旧 女	新 女	増加	旧 全体	新 全体	増加	前回順位
創傷等	22.6	22.6		20.9	22.6	*	22.1	22.6	*	1
嘔吐・吐き気	3.8	3.1		3.9	3.1		3.8	3.1		2
骨折	2.3	2.9	*	1.4	2.0	*	2.1	2.5	*	3
呼吸困難	0.4	0.6	*	0.7	0.8	*	0.5	0.7	*	5
胸が苦しくなった	1.0	0.5		1.3	0.6		1.1	0.6		4
意識不明	0.1	0.2	*	0.2	0.3	*	0.2	0.2		6

* =増減あり 単位: %

学生の方に多くみられた。

「現在の健康状態が悪い（「わからない」「少し悪い」「非常に悪い）」と回答した1,653名の学生に複数回答でその理由を質問した。全体の回答の多い順に前回の結果とともに表3.に示した。全体で最も多かったのは、「寝不足」で37.4%（男38.7%、女35.1%）、ついで「運動不足」の21.2%（男21.3%、女20.9%）である。前回報告と比較すると順位が逆転し「寝不足」を理由とする体調不良が増加していることがわかった。また、「食事のバランス」「二日酔い」が増加している。性別でみると、男子学生で「悩み事がある」「その他（通学・遅刻しそうになって走った・疲れている等）」の理由が増えている。

⑦高校時代の体育時における経験

高校時代の体育の実技中に意識不明・呼吸困難・嘔吐・吐き気・胸痛・骨折・創傷などの経験があるかという質問をした。全体の回答の多い順に前回の結果とともに表4.に示した。「ある」と回答した内容で最も多かったのは「創傷・打撲・ねんざ・突き指・肉離れなどのけが」で22.6%（男22.6%、女22.6%）、他の項目は低率で最も低率だったのは、「意識不明」で0.2%（男0.2%、女0.3%）であった。また、性別にみると「骨折」（全体2.5%、男2.9%、女2.0%）、「呼

吸困難」（全体0.7%、男0.6%、女0.8%）を高校時代の体育実技中に体験した学生が増えている。

3) 保健行動

①朝食の摂取状況

朝食の摂取の有無について「食べない（ほとんど毎日とっていない）」と「食べている（週に1回以上）」に分類し図6.に示した。朝食を摂取しない習慣の学生が増えていることが明らかになった。また、図7.図8.に朝食摂取状況の年次変化を男女別に示した。調査開始時の1987年には、70.3%（男66.7%、女81.8%）の学生が朝食を毎日摂取する習慣があった。しかし、年々朝食を毎日摂取する学生が減少している。男子学生では1996年（47.0%）、女子学生では2001年（49.8%）に5割以下に減少した。

②喫煙状況

全体の喫煙率は、図9.に示すように減少している（大学生の喫煙率というより高校生の喫煙率という意味合いが強い）。「吸う」と回答した824名に喫煙本数を質問した結果、最も多いのは「1～10本」で45.0%（男43.8%、女67.4%）であった。しかし、前回報告と比較すると全体に喫煙本数は減少傾向にあるが、男子

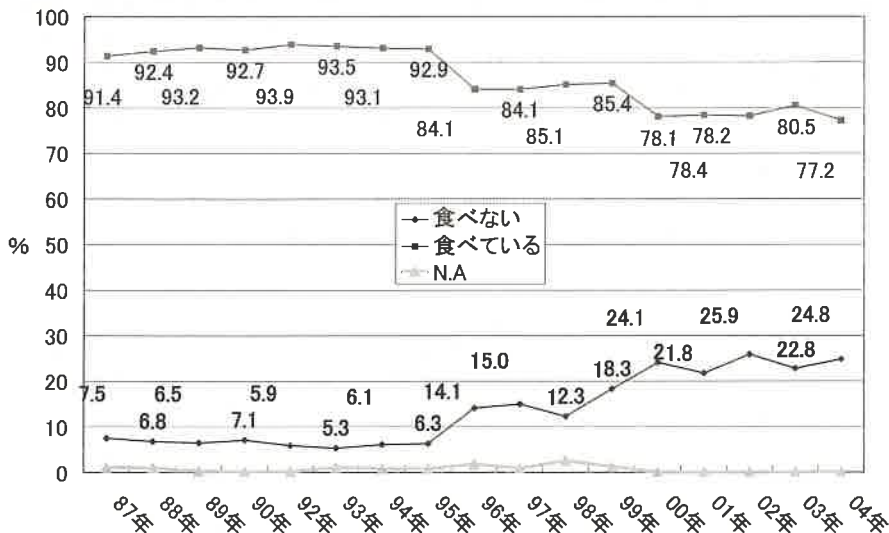


図6. 朝食の摂取の有無

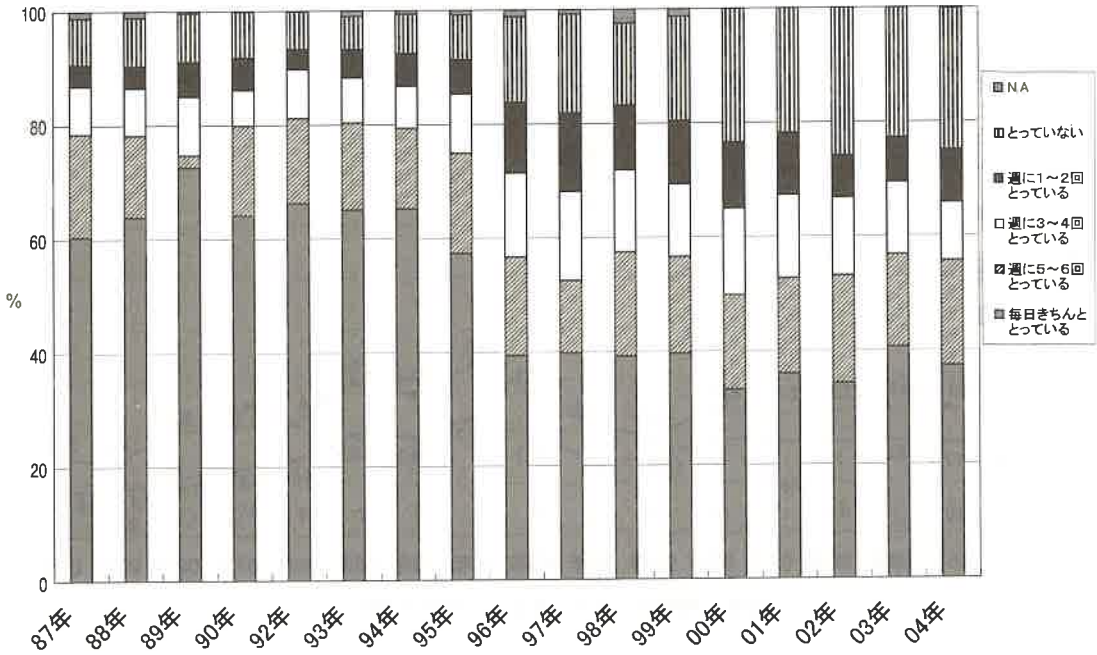


図7. 朝食摂取状況の年次変化 (男子学生)

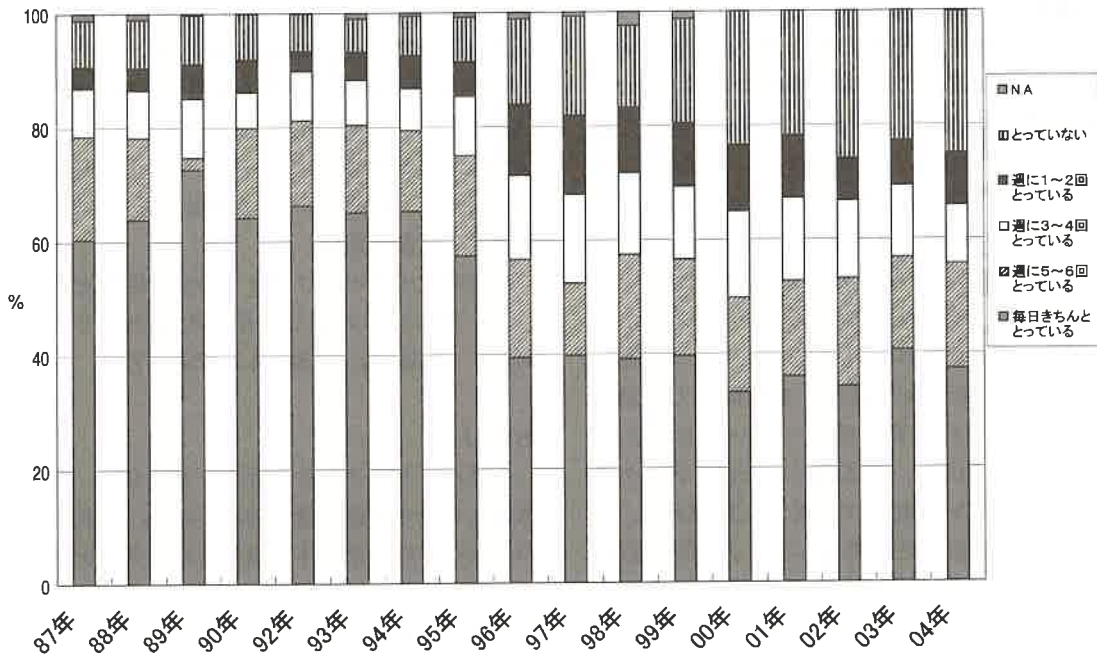


図8. 朝食摂取状況の年次変化 (女子学生)

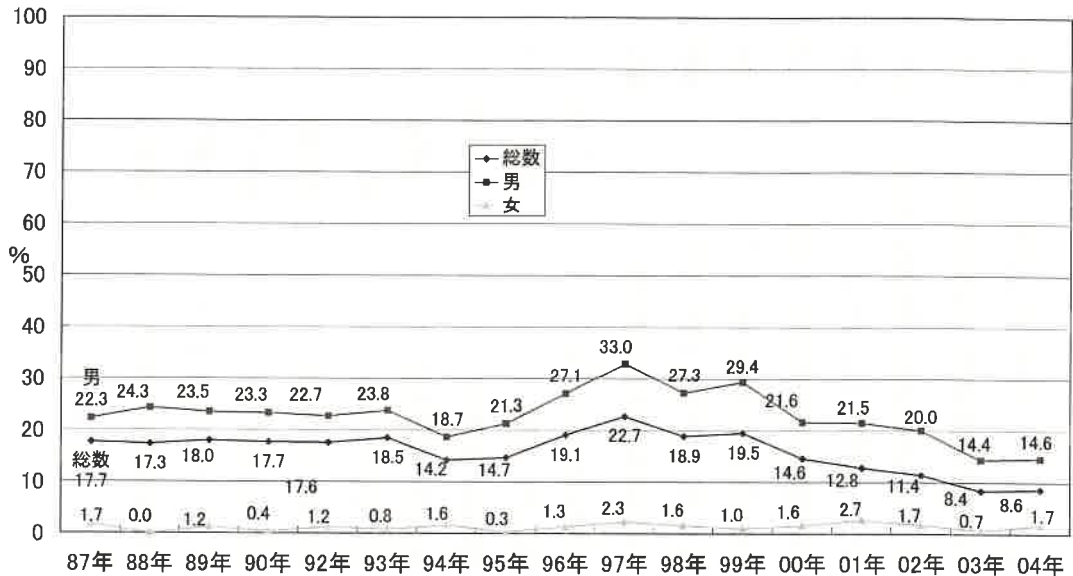


図9. 喫煙率（たばこを吸う）の年次変化

学生の「11～21本」は38.4%から43.3%に増加している。

③身体活動状況

図10-1. は、「息がきれる（ハアハアする）程度の運動を15分以上行ったのはいつですか」という質問に対する結果である。また、図10-2. は前回報告の結果である。全体で最も多かったのは、「1週間以内」で39.4%（男47.7%、女28.2%）、次いで「1ヶ月以内」で25.2%（男26.9%、女22.8%）である。しかし、性別にみると女子学生の「6ヶ月以上前」「1年以上前」が増加していることがわかった。

次に、「息がきれる（ハアハアする）程度の運動はどのような運動か」を質問した。最も多かったのは、「個人的なスポーツ活動」で35.8%（男40.5%、女29.4%）、次いで「クラブやサークル活動」で34.2%（男36.6%、女30.8%）である。男女別にみると「体育の授業」と回答したのは女子学生に多く性差がみられた（全体14.7%、男7.4%、女24.7%）。また、「息がきれる（ハアハアする）程度の運動」の内容として「その他（通学）」と記入する学生が増加している。

4) 高校時代のスポーツクラブ活動

①クラブ活動の種目

全体の60.5%が、高校時代に何らかのスポーツクラブの活動を行っていた。「やっていた」と回答した3,540名に対し種目を質問した。男女別にみると、男子学生が「硬式野球」18.0%、「サッカー」14.8%、「バスケットボール」10.6%、女子学生が「バレーボール」11.7%、「弓道」11.6%、「硬式テニス」10.6%となっている。

②クラブ活動の期間

高校時代のスポーツクラブの活動期間を質問した。最も多いのが「3年生の途中まで」で54.6%（男52.9%、女58.1%）であった。

おわりに

今後は、クロス集計を行なうとともに、前回報告と合わせ健康状態に対する認識、朝食摂取の有無などの結果と体力測定の結果を分析する予定である。

本報告は新井野が全体的な調査・分析の枠組を、岡本がデータ処理、佐多が高校時代のスポーツクラブ活動に関する分析を担当し、共同で実施した。

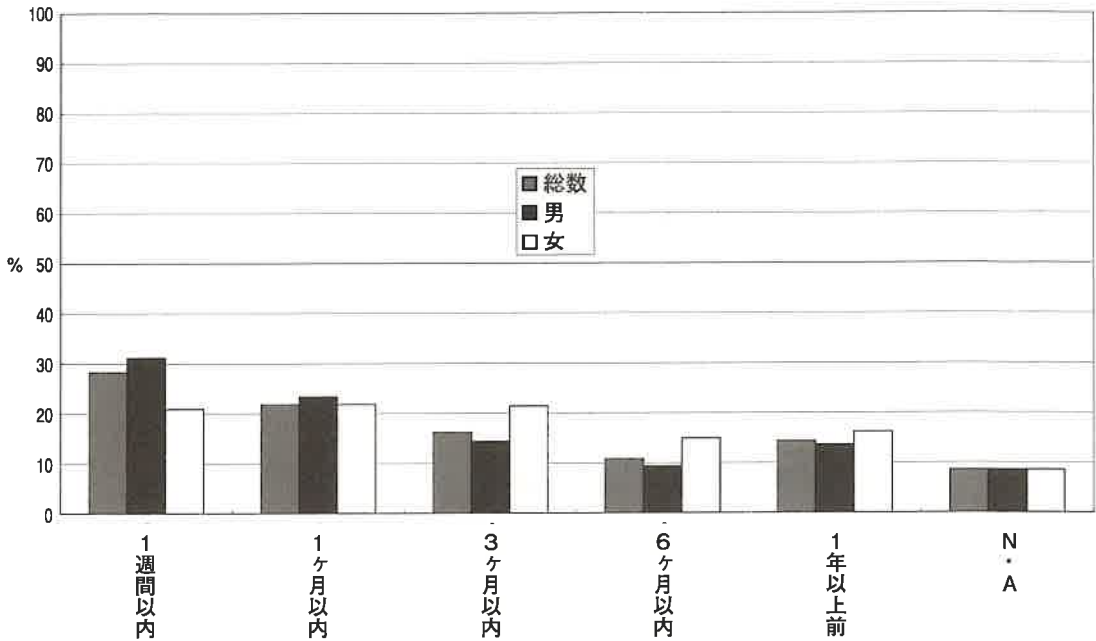


図10-1. 息がきれる（ハアハアする）程度の動きを15分以上行ったのは最近ではいつごろか

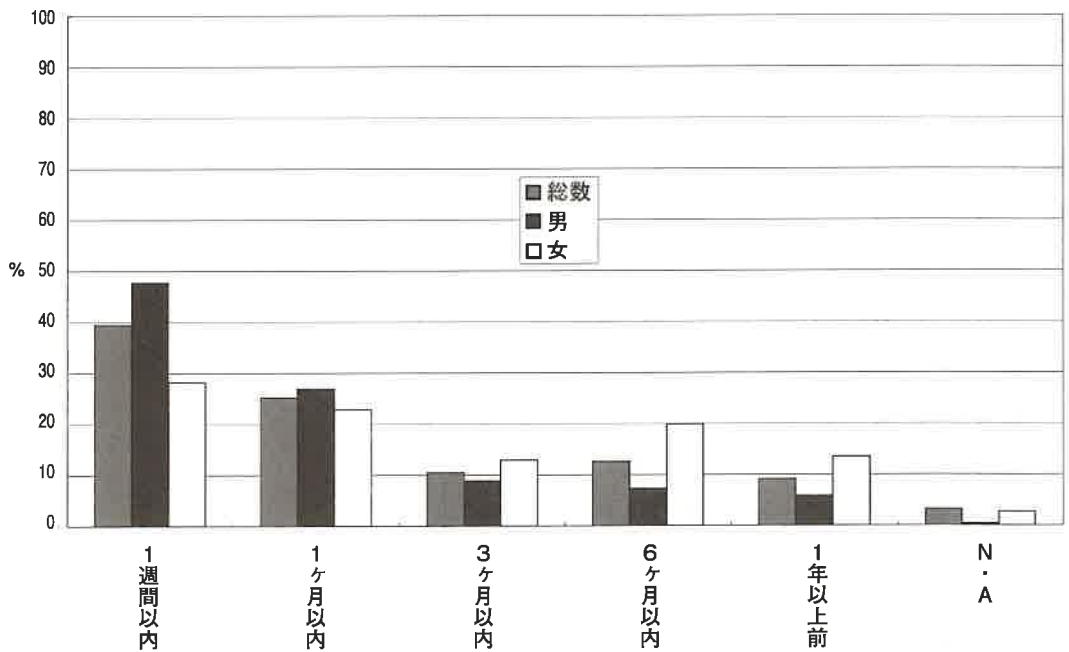


図10-2. 息がきれる（ハアハアする）程度の運動を15分以上行ったのはいつですか

[資料] 単純集計表 (年度別・性別)

質問項目は、00年～04年の新健康調査を「問」で表記した。また、99年度の旧健康調査票調査はく>内に表記した。また、旧健康調査のカテゴリが新健康調査のカテゴリと一致していない場合は、カテゴリの統合を示した。

表1. 学部・学科および性別

カテゴリー	99年度		00年度		01年度		02年度		03年度		04年度		合計		
	男(775)	女(414) 計(1189)	男(589)	女(317) 計(906)	男(615)	女(528) 計(1143)	男(626)	女(544) 計(1170)	男(666)	女(534) 計(1200)	男(500)	女(424) 計(924)	男(3771)	女(2761) 計(6532)	
哲学科	29	34	63	21	28	49	25	26	36	50	86	14	42	160	168
(文学部)	3.7	8.2	5.3	3.6	5.0	4.1	3.4	4.8	4.4	5.4	7.2	3.3	4.5	4.2	6.1
社会学科	96	100	196	39	54	93	29	50	79	40	62	34	75	267	347
(文学部)	12.4	24.2	16.5	6.6	17.0	10.3	3.6	8.9	6.0	4.6	8.5	8.0	8.1	7.1	12.6
史学科	67	33	100	51	44	95	45	52	97	50	16	32	76	310	230
(文学部)	8.6	8.0	8.4	8.7	13.9	10.5	7.3	9.8	8.5	7.5	3.0	5.5	8.2	8.2	8.3
文学科	28	110	138	25	93	118	41	120	161	46	128	73	96	185	638
(文学部)	3.6	26.6	11.6	4.2	29.3	13.0	6.7	22.7	14.1	6.9	24.0	14.5	10.4	4.9	23.1
文学部	220	277	497	136	207	343	129	243	372	172	256	76	289	922	1383
*1	28.4	66.9	41.8	23.1	65.3	37.9	20.6	44.7	31.8	25.8	47.9	17.9	31.3	24.4	50.1
経済学部	482	132	614	369	104	473	357	117	474	362	120	76	388	2238	668
(文学部)	62.2	31.9	51.6	62.6	32.8	52.2	57.9	22.5	41.6	54.4	22.5	40.2	42.0	59.3	24.2
経済一部	73	5	78	84	6	90	77	7	84	80	2	0	0	395	31
(文学部)	9.4	1.2	6.6	14.3	1.9	9.9	12.5	1.3	7.3	12.9	0.4	6.8	0.0	1.0	1.1
国コミ学部	0	0	0	0	0	0	53	155	208	52	156	195	247	216	679
*2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.6	29.4	18.2	7.8	29.2	17.3	26.7	0.6	24.6
N/A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(文学部)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	775	414	1189	589	317	906	615	528	1143	666	534	1200	924	3771	2761
(文学部)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

*1=文学部は、哲学科・社会学科・史学科・文学科で構成されている。*2=国際コミュニケーション学部

表6-1. 問5 生まれてからこれまでに、罹らったことのある病気にマークしててください(あるものすべて)。<⑤生まれてからこれまでの病気>

年 度	99年度		00年度		01年度		02年度		03年度		04年度		合計	
	男(775)	女(414)	男(589)	女(317)	男(615)	女(528)	男(626)	女(544)	男(666)	女(534)	男(500)	女(424)	男(377)	女(276)
有無	615	368	446	271	473	441	467	443	506	426	387	361	2894	2310
ない	79.4	88.9	82.7	75.7	76.9	83.5	74.6	81.4	77.8	76.0	77.7	77.4	85.1	81.0
ある	160	46	206	143	142	87	159	101	160	108	268	113	176	877
	20.6	11.1	17.3	24.3	23.1	16.5	25.4	18.6	22.2	24.0	1.1	22.3	22.6	14.9
合計	775	414	1189	589	615	528	626	544	666	534	1200	500	424	924
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表6-2. 問5 生まれてからこれまでに、罹らったことのある病気にマークしててください(あるものすべて)。

<⑤生まれてからこれまでの病気>「あり」と回答した1,328名(1,552ケース)

カテゴリー	99年度		00年度		01年度		02年度		03年度		04年度		合計	
	男(180)	女(55)	男(180)	女(55)	男(171)	女(58)	男(166)	女(100)	男(183)	女(114)	男(204)	女(118)	男(1038)	女(514)
ぜんそく	50	8	48	18	41	14	48	12	60	64	34	98	47	384
	27.8	14.5	24.7	26.7	28.1	24.0	28.9	12.0	22.6	35.0	29.8	33.0	18.6	14.6
高血圧症	5	0	5	0	2	0	0	0	0	2	0	0	2	3
	2.8	0.0	2.1	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.7	1.5	0.0
糖尿病	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.4	1.1	0.0	0.7	0.0	0.0
腰痛	69	10	79	63	60	24	66	16	82	76	30	106	55	8
	38.3	18.2	33.6	35.0	35.1	41.4	39.8	16.0	30.8	41.5	26.3	35.7	27.0	6.8
肝臓病	5	1	6	0	1	1	2	0	2	0	0	0	1	0
	2.8	1.8	2.6	0.6	0.6	1.7	0.9	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0
肺結核	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.4	0.6	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0
椎間板ヘルニア	20	4	24	21	23	9	5	14	11	1	12	2	12	7
	11.1	7.3	10.2	11.7	3.6	9.8	5.3	8.6	6.1	6.6	1.0	4.0	3.4	1.7
腎臓病	7	0	7	4	0	4	5	1	6	2	2	4	3	2
	3.9	0.0	3.0	2.2	0.0	1.7	2.9	1.7	2.6	1.2	1.0	1.1	1.1	1.7
リウマチ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
心臓病	8	0	8	4	2	6	0	1	1	5	0	5	8	4
	4.4	0.0	3.4	2.2	3.6	2.6	0.0	1.7	0.4	3.0	0.0	1.9	4.4	3.5
甲状腺障害	3	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	1.7	3.6	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	34	8	42	20	11	31	17	10	27	24	14	38	11	8
	18.9	14.5	17.9	11.1	20.0	13.2	9.9	17.2	11.8	6.6	13.0	9.0	13.1	12.3
合計	201	33	234	163	48	193	145	45	190	188	88	276	120	30
	111.7	60.0	99.6	90.6	87.3	89.8	79.5	98.3	84.3	87.3	45.0	71.4	102.7	92.9

表7-1. 問6 本学入学後(本年4月以降)に、罹らったことのある病氣やケガで最も重かったものに、マークして下さい(ひとつだけでマーク)。
 <⑥この1年間でかかった病氣やけが なし=全くなかった→問9.へとぶ>

その他 ない ある 合計	99年度		00年度		01年度		02年度		03年度		04年度		合計	
	男(775)	女(414)	男(589)	女(317)	男(615)	女(528)	男(626)	女(544)	男(666)	女(534)	男(500)	女(424)	男(3771)	女(2761)
実人数	558	289	263	133	371	308	679	391	368	308	333	285	618	2284
%	72.0	69.8	44.7	42.0	60.3	58.3	59.4	62.5	55.3	57.7	66.6	67.2	66.9	60.6
実人数	217	125	326	184	244	220	464	235	298	226	167	139	306	1487
%	28.0	30.2	28.8	58.0	39.7	41.7	40.6	37.5	44.7	42.3	33.4	32.8	33.1	39.4
実人数	775	414	1189	589	615	528	1143	626	666	534	500	424	924	3771
%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表7-2. 問6 本学入学後(本年4月以降)に、罹らったことのある病氣やケガで最も重かったものに、マークして下さい(ひとつだけでマーク)。
 <⑥この1年間でかかった病氣やけが 病名> マークした者=2604名(男1487,女1117)

カテゴリー かぜ ぜんそく 甲状腺障害 貧血 椎間板ヘルニア 糖尿病 皮膚病 心臓病 肺結核 骨折 高血圧症 リウマチ ねんざ 肝臓病 精神障害 腎臓病	99年度		00年度		01年度		02年度		03年度		04年度		合計	
	男(217)	女(125)	男(326)	女(184)	男(244)	女(220)	男(235)	女(223)	男(298)	女(226)	男(167)	女(139)	男(1487)	女(1117)
実人数	134	59	193	83	148	148	296	169	194	140	109	89	871	680
%	61.8	47.2	56.4	39.2	60.7	67.3	63.8	71.9	65.1	61.9	65.3	64.0	58.6	60.9
実人数	7	1	8	2	3	2	5	6	4	2	3	5	8	28
%	3.2	0.8	2.3	1.1	1.2	0.9	1.1	2.6	1.3	0.9	1.1	1.1	1.9	1.1
実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
実人数	3	4	7	4	4	5	9	3	6	8	4	14	18	24
%	1.4	3.2	2.0	2.7	1.6	2.2	4.7	1.3	2.0	3.5	2.7	10.1	5.9	1.6
実人数	0	0	0	0	5	0	5	3	4	0	4	1	2	17
%	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	1.1	1.3	1.3	0.0	0.8	0.7	0.7	1.1
実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実人数	4	2	6	9	9	10	19	8	6	10	7	6	13	40
%	1.8	1.6	1.8	4.9	3.7	4.5	4.1	3.4	2.7	4.4	4.2	4.3	4.2	2.7
実人数	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	3
%	0.5	0.0	0.3	0.0	0.4	0.0	0.2	0.0	0.4	0.2	0.0	0.7	0.3	0.2
実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実人数	8	4	12	3	5	4	9	4	10	0	4	0	4	34
%	3.7	3.2	3.5	0.5	2.0	1.8	1.9	1.7	3.4	0.0	2.4	0.0	1.3	2.3
実人数	1	0	1	0	1	0	1	1	2	0	2	0	2	8
%	0.5	0.0	0.3	0.0	0.4	0.0	0.2	0.4	0.7	0.0	1.2	0.0	0.7	0.5
実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実人数	9	4	13	24	14	11	25	17	26	6	16	7	23	106
%	4.1	3.2	3.8	7.4	5.7	5.0	5.4	7.2	8.7	2.7	9.6	5.0	7.5	7.1
実人数	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
%	0.9	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
実人数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	1
%	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.1
実人数	1	0	1	0	4	1	5	1	2	0	1	0	1	9
%	0.5	0.0	0.3	0.0	1.6	0.5	1.1	0.4	0.7	0.0	0.6	0.0	0.3	0.6

その他	実人数 %	12 5.5	8 6.4	20 5.8	15 4.6	11 6.0	26 5.1	25 10.2	10 4.5	35 7.5	15 6.4	12 5.4	27 5.9	26 8.7	10 4.4	36 6.9	15 9.0	14 10.1	29 9.5	108 7.3	65 5.8	173 6.6
NA	実人数 %	24 11.1	31 24.8	55 16.1	10 3.1	16 1.6	25 2.5	7 4.1	9 3.4	16 3.4	3 1.3	6 2.7	9 2.0	4 1.3	6 2.7	10 1.9	1 0.6	2 1.4	3 1.0	49 3.3	57 5.1	106 4.1
複数回答	実人数 %	11 5.1	12 9.6	23 41.4	135 41.4	65 35.3	200 39.2	18 7.4	7 3.2	25 5.4	5 2.1	7 3.1	12 2.6	4 1.7	14 4.7	38 16.8	52 9.9	3 1.8	0 0.0	3 12.5	186 11.5	129 12.1
合計	実人数 %	217 100.0	125 100.0	342 100.0	326 100.0	184 100.0	510 100.0	244 100.0	220 100.0	464 100.0	235 100.0	223 100.0	458 100.0	298 100.0	226 100.0	524 100.0	167 100.0	139 100.0	306 100.0	1487 100.0	1117 100.0	2604 100.0

表8. 問7 問6で最も重い病気にマークした(2,183名=男1252・女929) 病氣やけがのときに、どのような治療を受けましたか。
 <⑥この1年間でかかった病氣やけが 治療有無 ア：入院=入院した、イ：通院=通院した、ウ：買薬=売薬で完治した、エ：何もしない=何もしなかった、オ：その他=N.A.>

カテゴリー	99年度		00年度		01年度		02年度		03年度		04年度		合計		
	男(182)	女(82)	男(181)	女(116)	男(219)	女(204)	男(227)	女(210)	男(280)	女(182)	男(163)	女(137)	男(1252)	女(931)	
入院した	5	0	5	3	5	5	10	3	6	6	4	1	5	15	41
通院した	27	0.0	1.9	1.7	1.7	2.3	2.5	2.4	1.3	0.5	0.9	0.9	2.1	3.3	2.6
売薬で完治した	59	25	84	68	116	66	67	133	63	75	138	114	62	176	55
何もしなかった	32.4	30.5	31.8	37.6	41.4	39.1	32.8	31.4	27.8	35.7	31.6	40.7	34.1	36.1	33.7
NA	19.2	20.7	19.7	35.4	37.9	36.4	34.2	38.7	36.4	40.5	39.5	40.0	26.4	38.5	31.2
合計	42	13	55	44	21	65	52	118	67	51	118	82	42	124	57
入院した	23.1	15.9	20.8	24.3	18.1	21.9	30.1	25.5	27.9	29.5	24.3	27.0	29.3	23.1	26.8
通院した	41	27	68	2	1	3	7	1	8	2	0	2	4	2	6
売薬で完治した	22.5	32.9	25.8	11	0.9	1.0	3.2	0.5	1.9	0.9	0.0	0.5	1.4	1.1	1.3
何もしなかった	182	82	264	181	116	297	219	204	423	227	210	437	280	182	462
NA	83.9	65.6	77.2	55.5	63.0	58.2	89.8	92.7	91.2	96.6	94.2	95.4	94.0	80.5	88.2
合計	1252	931	2183	1252	931	2183	1252	931	2183	1252	931	2183	1252	931	2183

表9. 問8 問6でマークした(2,183名=男1252・女922) 病氣やけがは、現在どのような状態ですか。

<⑥この1年間でかかった病氣やけが 現在の状況 ア：完治=完治した、イ：通院中=通院治療中、ウ：放置=N.A.>

カテゴリー	99年度		00年度		01年度		02年度		03年度		04年度		合計	
	男(182)	女(82)	男(181)	女(116)	男(219)	女(204)	男(227)	女(210)	男(280)	女(182)	男(163)	女(137)	男(1252)	女(931)
完治した	104	44	148	137	91	228	162	156	318	214	136	350	123	224
通院治療中	57.1	53.7	56.1	75.7	78.4	76.8	74.0	76.5	75.2	79.3	77.1	78.3	76.4	74.7
わからない	11	4	15	17	9	26	23	20	43	18	12	30	28	22
NA	6.0	4.9	5.7	9.4	7.8	8.8	10.5	9.8	10.2	7.9	5.7	6.9	10.0	12.1
合計	43	24	67	27	16	43	34	28	62	29	36	65	38	24
入院した	23.6	29.3	25.4	14.9	13.8	14.5	15.5	13.7	14.7	12.8	17.1	14.9	13.6	13.2
通院した	24	10	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
売薬で完治した	13.2	12.2	12.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
何もしなかった	182	82	264	181	116	297	219	204	423	227	210	437	280	182
NA	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
合計	1252	931	2183	1252	931	2183	1252	931	2183	1252	931	2183	1252	931

表20-1. 問19 高校時代にスポーツクラブの活動をやっていましたか。やっていた人は種目にマーク（やっていなかった人は問21.へとぶ）。
 <⑦高校時代のスポーツクラブ活動について 種目は？ なし=やっていない>

カテゴリー やっていない	99年度		00年度		01年度		02年度		03年度		04年度		合計	
	男(775)	女(414)	男(589)	女(317)	男(615)	女(528)	男(626)	女(544)	男(666)	女(534)	男(500)	女(424)		男(377)
実人数	372	228	600	112	178	289	197	325	148	244	143	236	1150	1427
%	48.0	55.1	50.5	19.0	28.9	54.7	31.5	59.7	22.2	45.7	28.6	55.7	30.5	51.7
実人数	403	186	589	477	437	239	429	219	518	290	357	188	2621	1334
%	52.0	44.9	49.5	81.0	71.1	45.3	68.5	40.3	77.8	53.4	71.4	44.3	69.5	48.3
実人数	775	414	1189	589	615	528	626	544	666	534	500	424	3771	2761
%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表20-2. 問19 高校時代にスポーツクラブの活動をやっていましたか。やっていた人は種目にマーク（やっていなかった人は問21.へとぶ）。
 <⑦高校時代のスポーツクラブ活動について 種目は？>

カテゴリー やっていない マーク 2種目以上にマーク N/A 合計	99年度		00年度		01年度		02年度		03年度		04年度		合計	
	男(403)	女(186)	男(477)	女(317)	男(437)	女(239)	男(429)	女(219)	男(518)	女(290)	男(357)	女(188)		男(262)
実人数	333	131	464	379	421	221	414	209	500	264	350	186	2397	1143
%	82.6	70.4	78.8	79.5	96.3	92.5	96.5	95.4	96.5	91.0	98.0	98.4	91.5	85.7
実人数	16	39	55	10	6	5	6	3	4	26	4	1	5	46
%	4.0	21.0	9.3	2.1	1.4	2.1	1.4	1.4	0.8	9.0	1.1	0.5	0.9	1.8
実人数	54	16	70	88	10	13	9	7	14	0	14	3	1	4
%	13.4	8.6	11.9	18.4	2.3	5.4	2.1	3.2	2.7	0.0	1.7	0.8	0.5	0.7
実人数	403	186	589	477	437	239	429	219	518	290	357	188	2621	1334
%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.5	100.0	100.0

